令和2年度豊田市駅東口まちなか広場拠点施設運営・管理事業評価会議

評価結果報告

2021.2

評価会議について

評価会議の概要

日時　令和３年２月４日（木）
　　午後１時から午後４時まで
場所　豊田市中央図書館６階多目的ホール
　　及びオンライン

若年層を中心とした夜間における
芝生での滞留状況

評価委員

委員名	所属・役職
保井　美樹	法政大学　現代福祉学部　教授
河木　照雄	(一社)ＴＣＣＭ　タウンマネージャー
名畑　恵	錦二丁目エリアマネジメント（株）代表取締役
飯石　藍	公共R不動産コーディネーター
阿久津　正典	豊田市　都市整備部長

評価項目について

評価項目

1．運営・管理状況評価

売上（収益性）、来場者数、広場使用回数、企画実施回数、スクール事業内容、露出度

2．アウトカム評価

滞留行動

3．施設ミッションの達成度評価

・世代、国籍を超えた多様な人々の集いと交流の場となること
・豊田ならではの「おもてなし」を体現する憩いの場となること
・市民の「やりたい」が生まれる自己実現の場となること
・街への愛着や新たな活動の担い手が育まれる場になること

総評について

評価結果

◎今年度の運営事業者である『有限会社ゾープランニング』が次年度も引き続き事業継続していくことを決定

評価得点

評価項目に基づいて数値による採点を行った結果、６７５点満点中、４４３点の得点となり、**コロナ禍の中での対応及び改善を要する事項を踏まえて、今年度の目標達成に近づいている**と評価した。

評価基準	
607.5点以上	大変優れている
540点以上	優れている
472.5点以上	目標を達成している
405点以上	目標達成に近づいている
337.5点以上	目標達成の可能性が低い

テントの設置により若年層を中心とした芝生での滞留行動の増加状況

芝生を活用した活動状況（本写真はヨガ）

若年層が集まってピクニックを楽しむ状況

総評について

総評（評価できる事項）

コロナ禍という通常ではない状況下で、
全体的に利用者に寄り添った対応ができており、創意工夫を凝らした施設の管理・運営ができている。

具体的には、

- 収益事業が厳しい中で、自主企画を目標回数以上に実施したことは評価できる。
- 来場者に対する丁寧なコミュニケーションによって、何かアクションを起こしたい人の思いを汲み取り、形にする後押しをしていくことでとよしばという場所の価値を高めている。
- 中高生を始めとした若者の居場所を提供し、スクールプログラムでは高校生や大学生が受講しており、今後の育成に期待したい。

若年層を中心とした夜間における芝生での滞留状況

中京大学生と連携活動状況

総評について

総評（改善を要する事項）

- 表面的な使われ方だけではなく、イベント以外の日常的な使われ方をアピールできると良い。
- 周辺施設や地域が抱く課題を一緒に解いていく機会を持てると良い。
- 本事業での成果を具体的に示せると良い。
- 日常的に地域の人を受け入れている姿勢を積極的に情報発信できると良い。
- スタジオ・工作室利用について更なる周知を期待する。

若年層が芝生広場で開催されたイベントを楽しむ状況

芝生で親子が本を楽しむ状況

若年層がまちなかの居場所として過ごす状況